

それから、迎える時はもちろん、選手が帰る時ですね、旅館をはじめ、近所の人々全部で駅まで見送ってあげる。そこまでしてもらおうと、選手は感激しますよ。いつまでも忘れませんよ。

忘れられぬ真心の歓待

サラリとした親切がいい……

親切なお医者さん

上坂 大井さんは、これまでに本県の水泳選手の監督として、あちこちの国体に行つていらつしやいますが、色々親切にされたご経験もおありでしょう。

大井 え、沢山ありますよ。旅先でうけた親切は忘れられませんね。

それは富山国体の夏季大会で、高岡市に到着した時のこと。長い汽車の旅でもうクタ／＼に疲れていました。婦人会総出で駅前に接待所が設けてあつたので、お茶の接待を受けていたんです。そこへお医者さんが自家用車で来られて、バスが来ないなら自分が旅館まで送つてあげよう。そして、旅館に行く前に一寸繁華



<大井氏>

どうか以上のことを基礎において、選手の手皆さんに真心から接していただきたいものです。

田畑 そうですね。そんな一寸したこと

が大切ですね。

街をご案内しましょうといつて、にぎやかな通りをずつとドライブしてから旅館に送り届けて下さつたんですが、そんなサラリとした親切ですね。これが強く印象に残つています。

深見 いいお話ですね。

大井 これはその反対の話ですが、ずっと前の国体の時のことです。街に外出して、イザ旅館に帰ろうとしたら位置がわかりません。そこでタクシーを拾つて何々旅館までと云つたんです。ハイというので乗つたところが、一分もせぬうちに着いた……ナンダ、その角をクルリと廻つたら裏側が旅館だつた(爆笑)それ位の距離なら、すぐそこですすよと、一寸いつてくれたらいいんですがね。

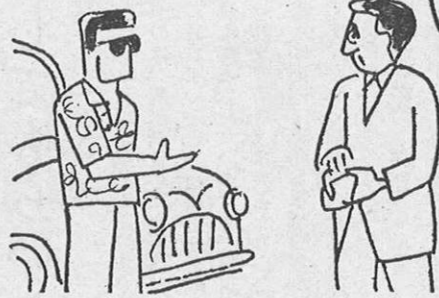
つれこみ宿のオカミさん

大井 これは呉に行つた時のことですがね。熊本県選手の宿舎は、まあつれこみ旅館といいますが、そんなところに割当てられたんです。皆々不満に思つていたんですがね。ところがオカミさんと

てもよい人で、いつも部屋に来て激励したり、話し相手になつてくれる。帰りには選手一同非常に好感をもつて別れてきました。

深見 設備なども大切ですが、何と云つても、お世話下さる方々の態度や真心が一番大切ですね。

大井 そうですよ。また、そこで呼んだアンマさんがなかなか国体のことがくわしいんです。その日の競技の状況をちや



んと知つている。選手のこと……。おたくの県の選手は誰が強いとか、誰が決勝に残つたとか。

そして、広島県の選手は予選で落ちてしまつたから、かわりに熊本

張つて下さいよと、アンマをしながらうんです。そんなことがとても嬉しいものです。

上坂 なるほど。各県の強い選手の名前とか、競技のことなど、一応は知つておく必要がありますね。

会場の道案内……

田畑 それから、競技場の位置とか、どこでは何の試合があつてゐるとか、そこへ行くには、どこ行きのバスに乗つたがよいとか、そんなことも私達は一通り知つておくことですね。道を尋ねられてから「サアどこでしょうね」では困りますね。

大井 そうそう。私の方でもそのことを考えまして、会場図や交通図などのほかに名産品、人口や熊本弁なども入つたカード式のものをつくつて、選手はもちろん、熊本の店員さんやお客さんに接する第一線の人々に配るようになっています。

国米 結構ですね。旅館の女中さん達にもぜひ下さいよ。

上坂 その点、県でも国体ニュースという特集号を出しています。すでに第一号は十萬部発行しましたが、更に夏季大会と秋季大会の前にもそれぞれ二号、三号を発行する予定です。

この国体ニュースにも、そういう面を詳しくのせて、県民の皆さんにお知りいただくように、必要な事柄を報道したいと思つてます。

熊本弁か標準語か

上坂 それから話題を変えまして、言葉の問題ですが、熊本弁はそのまゝ使つて熊本の特徴を出すのが良いという意見、あるいは標準語が良いという意見などありますが、この点どうでしょうか。県国体事務局の輸送宿泊部長であり、県観光課長である大井さん……。

大井 熊本弁というのは観光的に見ましてですね、一つのお土産にしてお客さんに覚えて帰つてもらいたいと思つていますね。

だから、旅館の女中さんとかバスの車掌さん、お店の店員さんなど、お客に接する時は、一般に熊本でつかわれている比較的標準化された言葉を使つてもらおう。そこへ同僚が来たとかいう場合は、

お互い同志は熊本弁でやる……するとお客さんが「それはどういう意味か」と聞く。「それはこんな意味です」と説明してあげる。そこでお客さんはその熊本弁を覚えて帰る。良いお土産になるわけですよ。

国米 そうです。そんな時には熊本弁もいいですね。普段お客様に接する際は普通の言葉を……まあ旅館などでは、お客様にわかりにくい言葉は、殆んどつかつていないんじゃないかと思つています。一応熊本の標準語ですね。

衛生面カゲの苦心と協力

まず赤痢予防を

小城 県では花いつばい運動などと併行して、これまで「蚊とハエをなくす運動」を県民の皆さんと一しよにやつてきたわけですが、只今は更に赤痢対策にも力を注いでいます。

修学旅行などでも、ちよい／＼集団で下痢をしたなどということが起つていました。今度の国体でそんなことでもあつたら、それこそ大変ですからね。

そこで飲食関係の業者の方は、家族にいたるまで検便をしていただくとか、一般家庭でも、ハエを徹底的に駆除すると共に、食前には必ず手を洗うという基本



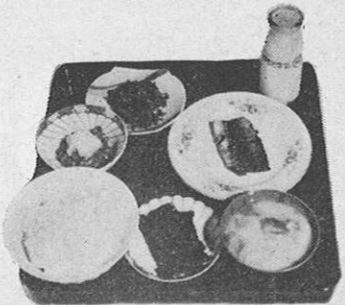
<小城氏>

的なことを実行していただく、そうして一人も赤痢患者が出ないようにしたいと思つています。

又、伝染病予防と共に、大会期間中は県医師会が全力を挙げて選手の傷の手当や宿舎の巡回診療などに当る計画であり、その他理髪、アンマ、クリーニング、銭湯、美容など、業者の組合では割

<国体料理>

朝食



昼食



夕食

